

指導教員名	山口 志郎
-------	-------

活動区分	情報分析型	連携先	企業

～ レッドハリケーンズ大阪観戦者調査プロジェクト ～

活動の様子



企画・活動概要

本社会共創活動では、レッドハリケーンズ大阪と協働しながら、スタジアムでの観戦者調査を行い、集客増に向けた基礎資料を得ることを目的とした。本企画は2022年度からの継続的なプロジェクトであり、本年度は2025年3月15日にヨドコウ桜スタジアムにてアンケート調査を行った。収集したデータを分析し、報告書を作成しながら、6月10日にレッドハリケーンズ大阪のスタッフに対して、報告会を実施した。

経緯・背景・目的

流通科学大学では、2022年12月16日にレッドハリケーンズ大阪と、教育・スポーツ振興に関する連携協定を締結した。本協定は、教育・研究・医療・文化およびスポーツの振興、人材育成、社会貢献などの分野において相互に協力し、双方の発展と充実に寄与することを目的としている。本社会共創活動では、連携協定の一環としてレッドハリケーンズ大阪におけるスタジアムでの観戦者調査を通じて、マーケティング分析のサポートを行うことにある。



取り組む課題

ジャパンラグビーリーグワンは3つのDIVISIONに分かれており、2021年度までチームはDIVISION 1に在籍していたが、母体企業のNTTDコモの編成上の理由により、2022年度はDIVISION 3からの戦いとなり、2023年度よりDIVISION 2に所属している。DIVISION 1に比べ、観戦者数が減少するなど運営上の問題を抱えており、今後どのようにファンを獲得し、持続可能なチームにしていくかが課題である。そのため、今回の観戦者調査を通じて集客増に向けた基礎データを獲得することで、今後のマーケティング戦略の立案が可能となる。

本学(学生)の役割

ゼミ生の役割はスタジアムでの観戦者調査に向け、アンケートの設計を考えると共に、3月15日にヨドコウ桜スタジアムにおいてアンケート調査を行うことであった。アンケート調査の方法は2025年より、QRコードを用いたオンラインフォームによる調査に一本化した。スタジアムでのアンケート調査では試合会場の入場口やイベントスペースにブースを設置し、その前でゼミ生が声をかけながら、オンラインにて回答頂くよう依頼した。最終的に回答が得られた観戦者に、ノベルティをお渡し、御礼を述べ、各回答者よりアンケートを回収した。



活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

今回プロジェクトに参加したゼミ生は3回生であった。2025年度は得られたデータを基にEXCELやSPSSによるデータ分析を行い、分析力を養うことに尽力した。また、担当者に対して、プレゼンテーションを行うことから、パワーポイントや原稿作成などプレゼンテーション能力向上もゴールと設定した。その結果、上記の2つの能力を身につけるとができ、コミュニケーション能力向上という成果も挙げられた。



指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



人間社会学部
人間健康学科
教授
山口 志郎 (ヤマグチ シロウ)
＜専門・担当科目等＞
スポーツイベントマネジメント、
スポーツ都市政策

<関係者・企業等>

レッドハリケーンズ大阪
マーケティングリーダー 兼 広報
オロ 将太 (サイグチ ショウタ)